

令和5年度 学校評価自己評価表（自己評価B）

評価 A：実施できた B：どちらかといえば実施できた
C：どちらかといえば実施できなかった D：実施できなかった

【教務部】

教務部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①生徒の希望進路の実現に向けた適切な教育課程の編成に努める。	(1)教育課程検討委員会を定期的に開催し、本校の将来を見据えた教育課程の編成に努める。 (2)進路指導部と連携し、大学入試変革等の情報収集に努め、適切な教育課程を編成する。	A B
	重点目標 3 ①中学校や地域に対する広報活動の充実を図る。	(1)中学校訪問や学校説明会等を効果的・効率的に実施し、女子校としての特色・魅力の発信に努める。 (2)学校案内やHPを活用し、本校の実績や取組、本校が目指す方向性等について、中学校や地域へ広く発信する。	A B
	その他の目標 ①危機管理を徹底する	(1)生徒が安全安心に学校生活を過ごせるよう、各学年・生徒指導部・健康安全指導部等と連携を図り、教育環境を充実させる。	A
	②教員間の連携を図り、職務の効率化を図る。	(1)ICTを活用し情報の共有化を図り、教員間の連携を強化する。 (2)すべての教員が必要な情報をすぐに利用できるよう、文書の保管方法の統一を図る。	A B

【進路指導部】

進路指導部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①生徒の進路希望を実現させるための各学年・教科への支援を行う。	(1)進路に対する意識を高め、満足のいく進路選択ができるよう情報の提供と企画の運営に努める。 (2)しっかりと目標に向かっていけるよう、自己の適性や進学先の魅力を知る機会を増やすよう努める。	B B

	重点目標 2 ①安定した指導体制の構築をはかる。	(1)業務内容の明確化・資料の利便性の向上をはかり、指導の効率化に努める (2)各学年と進路指導部の意思の疎通を図り、経験の共有を図る	B B
--	-----------------------------	--	--------

【学習指導部】

学習指導部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①授業を第一に考え、主体的・対話的深い学びの実現に向けて授業改善に努める。	(1)シラバス・定期試験範囲などを用いて、生徒が計画的・効果的な学習法を定着できるようにさせる。 (2)定期テストなどを通し、基礎学力の定着と向上を図れるよう指導する。 (3)授業評価を実施し授業改善に努める。 (4)探究的な学びにつながる授業や ICT を活用した授業の実践をおこなう。	B B A B
	②教員相互の授業見学や研究授業を通し授業力の向上を目指す	(1)校内の研究授業や公開授業を実施する。担当教科および他教科の授業の見学を通して授業力向上を目指す。	A
	重点目標 2 ①読書の推進 ②心豊かな生徒を育成する	(1)「図書館便り」、図書館報、「私の薦める一冊の本」、読書会などを通して読書啓発に努める。 (1)各種教育において、目的を周知しその目的を生徒に定着させるようにする。	B B
	その他の目標 ①個々の生徒に応じた学習指導に努める。	(1)授業の様子、テストなど個々の生徒に応じた学習指導ができるよう、各部・各学年・各教科と連携する。	B

【情報管理部】

情報管理部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ① ICT 活用の基盤を整備する。	(1)必要となる周辺機器や物品の把握し、円滑な利用を促す。 (2)適切な使用方法・場面・場所を提示する。	A A

	②タブレットや電子黒板などのハードウェアの整備と Teams や OneDrive などの Cloud 活用のソフトウェアの利用方法の研究を行う。	(1)不具合等に対処し、周辺機器の拡充に当たる。	A
		(2)活用方法を研究し、授業展開に資するよう情報提供を行う。また、生徒自身のリテラシーの向上を促す。	B

【生徒指導部】

生徒指導部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 2 ①委員会活動を推進し、生徒が主体的に自律した生活を守ろうとする態度を育成する。	(1)生活委員会のあいさつ運動を通して、挨拶の励行、遅刻の防止に努める。 (2)交通委員会の活動や交通安全運動を通して、交通安全意識を高め、交通事故ゼロを目指す。	B A
	重点目標 3 ①規範意識を育成するとともに生徒の活動状況の外部へのPRを充実させ、本校の特色・魅力の発信に努める。	(1)容儀指導の徹底を図るなど、規則を遵守する態度の育成に努める。 (2)ホームページの更新頻度を高め、生徒指導部に係る生徒の活動や講話など、本校の特色・魅力を随時発信する。	B A
	その他の目標 ①日常における危険を回避する能力、自己管理能力、人権尊重の精神を育成する。	(1)情報モラル講話などを通して情報モラルについての理解を深め、SNS などによるトラブル防止に努める。 (2)交通防犯講話などを通して事故や犯罪に巻き込まれないための適切な行動を理解させ、被害防止を図る。 (3)自己管理の徹底を図り、盗難防止に努める。 (4)自他の尊重、人権感覚及び生命尊重の精神の育成に努め、いじめゼロの学校を目指す。	A A A A
	②教育相談体制の充実を図る。	(1)面接指導の充実を推進するとともに情報の共有化を図り、チーム対応の徹底に努める。 (2)特別支援教育研修会を実施し、特別支援教育の推進に努める。 (3)教育相談研修会を実施し、教員の理解を深める。	A A A

【特別活動部】

特別活動部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 2 ①部活動・生徒会活動の一層の活性化を図り、充実した学校生活や人間関係を築こうとする主体性や社会性を育成する。	(1)部活動や生徒総会・中央委員会を通して、生徒の意見や考えを掌握し、学校生活に反映させる。	B
	重点目標 3 ①生徒の活動状況の外部へのPRを充実し、本校の特色・魅力の発信に努める。	(1)ホームページの更新頻度を高め、生徒の活動や本校の特色・魅力を随時発信する。	A
	その他の目標 ①学校行事やHR活動を通して、集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動できる生徒を育成する。	(1)学校行事やHR活動の意義を明確に示した活動目標・活動計画を作成し、各活動の実践をする。	B

【健康安全指導部】

健康安全部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①心身の健康に関する自己管理能力を育成を図る。	(1)時期を考慮した健康情報を発信し生徒の実態に即した健康教育を推進する。 (2)自身の健康状態について把握し、適切な判断ができる自己管理能力の育成を図る。	B B
	重点目標 2 ①環境美化活動に積極的に取り組む態度の育成を図る。	(1)月例大掃除で掃除の重点個所を具体的に示し環境美化に努める。 (2)美化委員会を中心に、花壇・プランターを適正に管理する。また、季節により枯れ葉の処理を徹底し校舎周辺の環境整備にも配慮する。	A B
	重点目標 3 ①災害発生時の適切な行動を身につける。 ②安全点検を実施し校内の	(1)避難訓練を実施し、自己の命を守り、適切な判断・行動ができる能力の育成を図る。 (1)月例大掃除と同時に安全点検を実施し、	A A

	安全管理に務める。	校内の危険個所を把握し修繕につなげる。	
--	-----------	---------------------	--

【渉外部】

渉外部	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 3 ① 渉外部関連事業を安全に行い、社会から信頼される学校づくりを行う。	(1) P T A・同窓会と学校の連携を強化する。	A
	② P T A活動を効果的に P R し、魅力を発信する。	(2) 渉外部関連事業を安全に実施する。 (1) P T A新聞の内容を充実させる。	A
	③ 同窓会活動を効果的に P R し、魅力を発信する。	(2) H P を随時更新し、P T A活動の様子や魅力を広く発信することを通して、開かれた学校づくりを行う。	B
	④ 地域と学校の連携した取組を安全に行い、社会から信頼される学校づくりを行う。	(1) H P を随時更新し、同窓会活動の様子や魅力を広く発信することを通して、開かれた学校づくりを行う。 (1) 地域と学校の連携した取組を安全に実施する。 (2) H P を随時更新し、地域と学校の連携した取組を広く発信することを通して、社会から信頼される学校づくりを行う。	B

【1 学年】

1 学年	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ① 計画的に学習する習慣を確立させる。	(1) 学習手帳の活用を通して自己管理能力を向上させながら、「予習→授業→復習」の学習サイクルを確立させる。	B
	② キャリア教育を充実させ、学習意欲を向上させる。	(2) 総合的な探究の時間等を通して、早期に進路目標を設定させることで、現在の学びと将来の進路を関連させ、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。	A
	重点目標 2 ① 主体性、社会性ある生徒を育成する。	(1) 部活動等への積極的な参加を促し、集団の一員としてのよりよい生活や人間関係を築こうとする主体的な態度を育成する。 (2) ホームルームや委員会での活動を通して、問題解決能力を向上させる。	A A
	重点目標 3 ① 学年の取組を適切に情報発信する。	(1) 学年 H P の適宜更新や学年だよりの発行により、情報を広く伝える。	A

【 2 学年】

2 学年	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①主体的に学び、確かな学力を身に着け支える学習指導を実践する。	(1) 予習・復習を徹底させ、授業を中心とした学習習慣の深化を図る。 (2) 学力レベルに応じた指導展開を図り、進路実現のための基礎力・応用力の定着を図る。	B B
	重点目標 2 ①主体性、社会性ある生徒を育成する。	(1) 自他を尊重し、共に学び合い、高め合おうとする生徒を育成する。 (2) 集団の中での自分の役割を自覚し、協力して集団に貢献しようとする態度を育成する。	B B
	重点目標 3 ①学年の取組の情報を適切に発信する。	(1) ホームページを活用し、学年の様子が広く伝わるように努める。	A
	その他の目標 ①充実した学校生活を送るための基盤づくりをする。	(1) 面談等を適宜実施し、生徒一人ひとりにあった学校生活の援助をする。	A

【 3 学年】

3 学年	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①全生徒の希望進路を実現させる指導を実践する。	(1) 授業中心の学習習慣を継続させ、学習基盤の完成を図る。 (2) 課外等において学力レベルに応じた指導展開を図り、実現進路実現に向けた深い学びを推進する。	A A
	重点目標 2 ①社会に貢献できる生徒を育成する。	(1) リーダーシップを発揮し、主体的に集団に貢献する姿勢の更なる涵養を図る。 (2) 自他を尊重し、互いに高め合う人間関係を構築する姿勢の涵養を推進する。	A A
	重点目標 3 ①学年の取組の情報発信をする。	(1) 学年の H P の適宜更新により、状況を広く伝える。	B

	その他の目標 ①充実した学校生活を送るための基盤を完成させる。	(1)生徒・保護者との時宜を得た面談・個別指導等の実施によって、希望進路を実現すべく援助を図る。	A
--	------------------------------------	--	---

【国語科】

国語科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①進路希望を実現するために、正確な読解力・表現力を高めることを目指した指導を工夫する。	(1)予習・授業・復習それぞれが持つ学習の意義を踏まえた、自主的・計画的・継続的な学習習慣を身につけさせる。 (2)諸教材の有機的関連づけ等を通して探究的な学びを実践し、広い視野・深い洞察に基づいた理解力と表現力の育成を図る。	B B

【地歴・公民科】

地公科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①社会への関心を高めるとともに、主権者としての自覚を持たせ、主体的に生きる資質を養う。 ②知識の理解・思考の深化をより一層はかる。 ③進路実現のために、入試に適切に対応する。	(1)新聞・ニュース等を活用し、現代の諸課題への意識を高めさせる。 (2)対話・考察を通し、主体的に諸課題を解決する態度の育成を図る。 (1)学習内容の理解や考察の深化をはかれるよう、授業を工夫して行う。 (2)ICT 機器を効果的に活用する。 (1)資料の読解を通じ、多角的・多面的な思考力・判断力・表現力を育成する。 (2)難関大学の受験に適応した指導方法の研究を進め、個別学力試験に対応できる応用力を育成する。	A A B B A A

【数学科】

数学科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力を育成する。	(1)学習サイクル(予習→授業→復習)を確立させ、課題プリントや問題集等の活用を工夫することで、基礎学力の定着を図るとともに思考力・判断力・表現力を向上させ、進路実現につなげる。	A

		(2)単元テストによって既習事項の定着状況を確認させるとともに、校内模試・校内学力テストによって個別学力試験に対応できる応用力を育成する。	A
	②大学入試へ適切に対応する。	(1)入試問題を研究し、それらを活かした授業や問題作成等により生徒の進路実現につなげる。	B

【理科】

理科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①教科指導の充実	(1)授業等において、現在の学びと将来の学びとの繋がりに触れ、進路に対する意識を喚起するとともに、教科面談を取り入れた丁寧な教科・進路指導を行う。 (2)ICTの使用状況や方法について情報共有し、授業観察や研修等を通して（年5回以上）、より効果的なICTの活用法を身につける。	B B
	②実験・観察における危機管理及び教育環境の整備	(1)実験・観察等に発生する事故等を予防するために安全指導を徹底して行う（実験室の備品等の扱い方、実験・観察時の服装・頭髪の指導など。）	B
	③高大連携等の充実	(1)高大連携等の活用により、科学への興味関心を喚起し、より深い学びの実践と進路学習の深化を行う。	B

【保健体育科】

保体科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①課題解決学習と技能の向上を図る。	(1)単元テストの評価基準を提示することにより、生徒が課題を発見し、解決方法を工夫できる授業を実践する。	A
	②基礎的な健康に関する知識を習得させる。	(1)保健ノートを活用及びICT教材を活用し、自らの健康を高めようとする意欲の向上を図る。	B
	重点目標 2 ①運動部活動の支援をする。	(1)生徒の体力・技能向上のための協力体制を確立する（新体力テスト結果の活用）。	B

【芸術科】

芸術科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①基礎的な知識、技術・技能の定着を図る。	(1)個々の生徒の技術・技能の基礎力の把握に努め、個に応じた指導、トレーニングの工夫を行う。 (2)基礎事項に重きをおきながら、発展的な内容を修養する。	B B
	重点目標 1 ①芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を養う。	(1)様々な活動を吟味し、数多く体験させる。 (例：作品発表、演奏発表など) (2)教科の生涯学習的な性格を念頭に、多様な分野での幅広い教養と豊かな感性を涵養する。	A A

【英語科】

英語科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①生徒の興味・関心を喚起し、基礎的な知識・技能を定着させ、さらに思考力・判断力・表現力を育成する。	(1) 英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどを主体的・対話的に学ぶ機会を提供することで、思考力・判断力・表現力を向上させる。共有ファイルなど ICT を活用する。 (2)ICT 等を活用してオーセンティックな教材を導入することで、コミュニケーションに必要な基礎事項を定着させ、運用力を高める。同時に、英語を通して幅広い知識・情報を得る姿勢を養う。	B B
	②個々の進路希望に応じた学習指導を行い、より高度な英語力を身につけさせる。	(1)大学入試問題や外部検定試験に向けての個別学習指導を充実させることで、英語力を伸長させ、個々の進路実現につなげる。3年次までに実用英語検定 2 級合格者が 5 割程度になることを目安とする。	A

【家庭科】

家庭科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ①体験的な学習活動や思考を深める学習活動を通して、生活を創造する力	(1)ICT 等の活用や対話的な学習活動を中心とした授業実践に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて、意思決定力を育成する。	A

	を身に着けさせる。	(2) 自己の課題を明確にし、工夫して課題解決に取り組む力を育成する。	B
	重点目標 2 ① 学校家庭クラブ活動を通して、生徒の主体性や社会性を育成する。	(1) 地域の諸課題に関心を持たせ、社会の一員としてその解決に参加しようとする態度を育成する。	B
	重点目標 3 ① 学校家庭クラブ活動の P R する。	(1) 学校家庭クラブ活動を H P などを通して P R する。 (2) 学外の諸機関や事業所等と連携した家庭クラブ活動の実践をとおして、地域に開かれた学校づくりに寄与する。	A B

【情報科】

情報科	努力目標	具体的な取り組み	評価
	重点目標 1 ① 情報と情報技術および情報社会に参画するための資質・能力を育成する。	(1) コンピュータやデータの活用についての理解および技術の習得と効果的に活用する力を育成する。 (2) 情報社会に対応する力および人との関わりを深めさせる。	A B